

新チャレンジ章「フィールドマスター」

実施の手引き

I. 新チャレンジ章

・はじめに

カブスカウトの選択課目であるチャレンジ章は、「社会生活」、「自然と野外活動」など5つの分野で全40種類が設定されています。カブ隊に入隊、上進した後、活動や生活の中で進級課目に取り組みつつ、自分の興味があるものや得意なものから自由に挑戦することができるのが特徴です。隊の指導者やご家族一緒になって取り組むことで、生活の幅を広げ、個性を伸ばし、自信を深めることにつながります。

そのチャレンジ章に、企業とのタイアップによるバッジが数量限定で加わることになりました。これは、通常のチャレンジ章課目と同様に、家庭や組、隊での活動において細目に挑戦し、サインしてもらうことでバッジを制服やタスキに着用できます。この新チャレンジ章は、カブブック「チャレンジ章」には載っていません。ワークブックや本紙「実施の手引き」に、取得するための細目や活動のヒントを掲載していきます。

・フィールドマスターとは

マルチツールのプロフェッショナルであるビクトリノックス社とともに、突然の災害や事故にも負けずに野外でたくましく活動してほしいとの思いからこのバッジを作りました。



手先を使うナイフなどの道具の正しい使い方を学び、ケガの手当てや自分だけのハシ作り、火起こしや野外料理に取り組みます。野外で積極的に活動できる、フィールドマスターに挑戦してください。

カブスカウトは、ナイフを積極的に利用する年代ではありませんが、ナイフは野外活動で便利だけでなく創造性や手先の器用さを育むと言われています。

Ⅱ. プログラムの導入

・年間および月間プログラムへ

プログラムとして実施するため、新チャレンジ章の取得を年間プログラムへ反映、また月間プログラムへ落とし込む作業が必要になります。

類似するテーマの隊活動または組での活動として、また特別隊集会としての取り組みもひとつの方法ですが、家庭で保護者と一緒になって課題（細目）に取り組むことも可能です。プログラムの取り組み方法は、隊として決めてください。

・ワークブックの活用方法

フィールドマスターでは、4つの細目を達成するためのおすすめプログラムを用意しています。1～4を取り組むことで、細目を履修することができます。

各プログラムには、どのような活動で展開すると良いか、展開例が書いてあります。参考に、プログラム1つ目の展開方法は、「組集会」や「隊集会」です。

今年度はご家庭やお友達と取り組む事も想定し、「家族で取り組む」「友達と取り組む」などの表記を追加しました。体験活動などでも展開してみてください。



【プログラムと細目の関連性】

1. ケガの手当てをする

細目「ナイフなどのツールを安全に出し入れできる」に関連付けましょう

2. マイはしをつくる

ナイフなどのツールで木のえだや竹をけずることで、ものを作りましょう。

3. 動物よけをつくる

ナイフやリーマーなどのツールを使うことで鳴子だって作れます。

4. 火起こしと料理に挑戦する

ナイフで着火用の木くずを作り、ボーイ隊の基本の火起こしに挑戦しよう。

・ワークブックへのサイン

細目やプログラムに挑戦したら、ワークブックへサインをします。組や隊の集会であれば隊指導者やデンリーダーが、自宅で細目に挑戦したら、保護者の方が日付と名前を記入します。

一つひとつの細目がスカウトのスキルアップにつながっていますので、頑張りをほめてあげてください。

・組集会での取り組み

細目およびすべてのプログラムは、組集会でも実施することができます。組での活動が可能・充実している隊は、ぜひ取り組んでください。

・家庭での取り組み

ものを作るプログラムは、家庭で保護者の方と一緒に取り組む機会として設定することができます。隊活動のバランスを見て、取り組んでください。

Ⅲ. バッジの授与

・授与のタイミング

スカウトがすべての細目を履修し、「フィールドマスター宣言」をワークブックに書き入れたら、隊長の承認によりチャレンジは完了します。

バッジは、手元にあるからとその場で配布せず、通常のチャレンジ章と同じく、隊活動や団行事でのセレモニーや各種記章授与式など、他部門を含めたスカウトや保護者の方が多くいる場において、取り組みを称えて授与してあげてください。

授与するタイミングにおいて、この新チャレンジ章に挑戦することをひとつのきっかけとして、他のチャレンジ章やひとつ上の進級を目指して、家庭や組・隊集会での活動につなげられるよう、隊指導者からの声かけをお願いします。

・制服への着用

企業協力によりバッジ作成をしているため、他とカラーデザインが異なりますが、これはチャレンジ章の一つです。初めて取得するスカウトは制服右袖の組別章の下に、5個以上取得しているスカウトはタスキに着用することができます。他のバッジと同様に、ひとつの取り組みの成果として着用してください。

フィールドマスターを着用するという事は、野外でナイフやツールを使えるスカウトであることの証です。ナイフを活動で頻繁に使うのは、ボーイスカウトへ上進してからですが、今後も使う機会を設けて、活動に活かしてください。

・使ったワークブックは

フィールドマスター宣言を書き入れたワークブックは、スカウトの取り組みを示す大切な記録です。ボーイスカウトへと上進してからも自分自身で書いた「宣言」を振り返るためにも、カブブック「チャレンジ章」に貼ったり、挟み込んだりと大切に保管するようにご指導ください。

IV. 記録と報告

・活動の記録と日本連盟への報告

活動当日の様子は、写真での記録をお願いします。スマートフォンに付属するカメラ機能の画素数で十分です。Webサイトに記載する活動報告の案内に従い、以下の項目と活動の様子が分かる写真を添えて、日本連盟までご報告ください。

注意：団内で撮影した写真は、日本連盟および協力企業がプログラム開発および広報として利用する場合がありますので、団内とご家族の許諾確認をお願いします。

本プログラムは企業とのタイアップによるものです。多くの皆さんに組み込んでいただき、その報告をすることで次年度へのつながり、また新たなテーマへとつながっていきます。ご協力のほど、よろしく願いいたします。

【報告いただく内容】

- 実施日時 月間プログラムのテーマ 展開方法 実施回数 実施場所
- 概要・展開 バッジ取得スカウト数 スカウト宣言 活動時の写真（ご家族の許諾確認含む） 実施時の気づき 新チャレンジ章へのご意見 など